

平成11年度第3回幹事会報告

平成11年10月21日
国立京都病院

[報告・協議事項]

今回の幹事会には会長も出席し、会議の運営や事業活動に幾つかの提言があった。特に電子メールによる情報共有は便利であるので、幹事や関係者の間でこれを活用することにした。事務局(総務・会計)：(1)8月25日、東海地区医学図書館協議会より当協議会に『医学雑誌総合目録1997年改訂版』の書誌データ利用依頼が正式にあった。国立京都病院において坪内政義氏(愛知医大)ほか2名と、病図協からは担当幹事の山室真知子、事務局の小田中徹也が会見。データ利用についてその条件や目録作成にあたっての意見交換をおこなった。(2)9月7日、日本病院会より平成11年度の全国図書研究会(10/14-15 東京)の後援名義借用依頼があったので、従来どおり了承した。(3)9月17日、株式会社サンメディアよりProQuestのコンソーシアム利用について申し出があった。当幹事会で検討の上、返答することにした。(協議事項参照)(4)9月22日、北九州市における第9回九州地区医学図書館員セミナーにおいて、小田中徹也が当協議会の活動を紹介した。(5)9月24日、日本医学図書館協会より第6回医学図書館員基礎研修会の開催案内があった。(当協議会会員から5名参加した。)(6)10月15日、日本病院会全国図書研究会の機会を利用し、聖路加国際病院において主な参加者を対象にした病院図書館員認定資格制度ヒヤリング会を開いた。(7)10月26日、国立京都病院において当協議会会員のうち比較的若い担当者を対象に認定制度ヒヤリング会を開催した。報告資料配布。(8)第75回近畿地区医学図書館協議会例会(11/05天理よろづ相談所病院)の案内。(9)第6回共同事業運営会議(11/20国立京都病院小会議室)の予定紹介。(協議事項参照)(10)会計報告(担当幹事より)(11)新会員：

岡崎市民病院、徳島健生病院

研修部：第91回研修会報告、参加者延べ25名。研修会報告参照。第92回研修会は準備の都合などから2000年1月に開催することにした。テーマは「シソーラスと文献検索」とし、大阪市立大学学術情報センターを会場に借りる予定。会誌編集部：会誌19巻3号の発行経過および4号の企画と編集経過について報告。印刷については、写植印刷に変更することとあいまって場合によっては、印刷所を変更したい。19巻2号に掲載された会員名簿の中で、会員のメールアドレスに掲載したことについては個人契約のアドレスもあった。今後は本人の了承を得たもののみ掲載することにし、また、訂正箇所が多いので年末までに会員名簿の別冊を作成し会員へ配布することにする。統計調査部：調査項目の変更については必要に応じ、適宜改善する。担当スタッフは最低2名とし、うち1名は幹事が当たる。集計結果の公表については、次回調査でアンケートをとり、その結果を受けて公表する。目録編集部：現行所在目録は11月中旬に完成予定。Letturaの配布状況と今後の扱い。特に支払方法などのカスタマイズについては、オプションとして開発担当者に希望を出し、個別に相談することにした。

[協議・決定事項]

(1)共同事業、特に「病院図書館員認定資格制度」について：実行準備委員会の委員長に首藤佳子、委員に林伴子、浜口恵子、木下久美子があたることを承認した。11月20日に第6回共同事業運営会議を国立京都病院で開催予定。幹事では山室真知子も出席予定。(2)株式会社サンメディアから提案されているProQuestのコンソーシアム利用について：このサービスについて説明の機会を設け、10機関以上の会員が参加を希望するようであれば、来年度実施の方向ですすめることにした。(3)次回幹事会は、役員会開催日と日程が近くなり、出席メンバーもほぼ同じことが予想されるため、役員会と兼ねて2月17日、国立京都病院で開催することにした。